



福寿草

建設情報誌

C-net 通信  
Construction

Vol.646

さが

『C-net通信』で 🔍 検索

2024年2月21日  
(毎週水曜日発行)<https://www.nsci.co.jp>

発行所：(株) NSC 佐賀市日の出1丁目 16-19

TEL 0952・97・9643 FAX 0952・97・9647

ミラクルソル協会

## 技術研修会を開催

## 環境、防災などテーマに講演

ミラクルソル協会（原裕理事長）は8日、唐津市文化体育館において第31回技術研修会を開催した。建設会社や建設コンサルタント会社、官公庁の技術者ら約140人が参加し、環境、防災、維持管理技術をテーマにした講演を聴講した。

研修会は佐賀県ジオファイバー協会、佐賀県ニューレスプ協会、SSLアンカー協会が共催し、一般社団法人唐津建設業協会と一般社団法人佐賀県地質調査業協会が後援。2部構成で行われた。

第1部では、原理事長が「ミラクルソル工法でグリーン社会への構築」と題して講演。地球温暖化に伴う豪雨・土砂災害の頻発、斜面防災事業の重要性、ヒートアイランド現象による気温上昇などに触れ、防災・減災、環境負荷低減などに貢献するミラクルソル工法を解説した。

ミラクルソル工法は、ガラス廃材を再利用したミラクルソルの特徴に応じ、28の工法を開発している。原理事長は、盛土造成地の防災対策に有効な「FWG盛土造成と排水工法」、斜面の早期緑化と安定化を実現する「FWG・ウッドチップ工法」、高い保水性で路面の温度上昇を抑える「FWG・透保水性舗装工法」を紹介し、グリーン社会の形成につながる工法だと強調した。

続いて、サンスイ・ナビコ(株)の和田亮営業開発部主任と堀江靖九州営業所長が講演し、グラウンドアンカー健全度調査の実施例、耐久性や維持管理性に優れた「SS



講演する原裕理事長

L・Fixrグラウンドアンカー工法」を紹介した。

第2部では、元佐賀大学低平地沿岸海域研究センター長教授の荒木宏之氏が「多機能土木材料ミラクルソルの環境分野における役割」と題し、水質浄化材としてのミラクルソルの優位性を解説した。また、砂防フロンティア整備推進機構の今井一之理事が「砂防関係事業および施設の維持・管理とソフト対策」のテーマで特別講演を行った。

会場では、ミラクルソル工法とSSL・Fixrグラウンドアンカー工法のパネルディスカッションも行われた。  
【2月13日HP掲載】